

がん対策の取組について

全般事項

- 岩手県がん対策推進条例の推進
 - ・ 「岩手県がん対策推進条例」の規定に基づく取組を実施
- 「第3次岩手県がん対策推進計画」の推進
 - ・ 「第3次岩手県がん対策推進計画」（2018～2023）に基づく取組を実施
- 「岩手県保健医療計画（がんの医療体制）」の推進
 - ・ 「岩手県保健医療計画（がんの医療体制）」（2018～2023）に基づく取組を実施
- 「健康いわて21プラン（第2次）」の推進
 - ・ 「健康いわて21プラン（第2次）」（2014～2022）に基づく取組を実施

1 がんの予防

- がんの予防に向け、県民に対する正しい知識の普及啓発を進めるとともに、たばこ対策においては、健康増進法の改正に伴う新たな受動喫煙対策のほか市町村や関係機関との連携による、喫煙環境の変化の機会をとらえた各種禁煙促進の取組を実施
- がんの早期発見に向け、がん検診の受診率向上を図るため、県民に対する普及啓発（受診勧奨）や受診環境の整備など、市町村や関係機関との連携により各種取組を引き続き実施
- 「岩手県がん検診受診率向上プロジェクト協定」締結企業等と協働し、がん検診受診率の向上に向けた取組を実施

1 がんの1次予防

- ・ 岩手県がん対策推進条例等に基づき、様々な取組を活用して、広く県民にがんの予防や早期発見について情報発信
- ・ 「世界禁煙デー」及び「禁煙週間」の取組として、各種媒体を活用した禁煙の呼びかけや、全県における啓発ポスターの掲示等を実施
- ・ 望まない受動喫煙を防止するため、改正健康増進法の全面施行に伴う受動喫煙防止措置の周知徹底、指導等（施設の管理者等に対する説明会等）
- ・ 市町村・学校・企業等における禁煙・防煙リーダー研修会の開催、禁煙支援マスター（保健所長）等による禁煙・防煙教室の開催及び地域における喫煙ストップキャンペーンの実施
- ・ 協会けんぽ岩手支部と連携し、たばこ対策などの分野において、全県的な普及啓発活動を実施

普及啓発の内容	配布・掲示先（か所数）
「協会けんぽ岩手支部チラシ」を活用した情報発信	支部の全加入企業（17,000企業）

2 がんの2次予防（がんの早期発見、がん検診）

- ・「岩手県がん検診受診率向上プロジェクト協定」締結企業等と協働し、がん検診受診率の向上に向け、受診勧奨リーフレット等を作成し全県に配布
- ・いわてピンクリボンの会と連携し、10月のピンクリボン運動月間に、乳がん検診受診勧奨ポスターの掲示や、各合同庁舎等におけるピンクリボンツリーの設置など、全県で普及啓発を実施
- ・コロナ禍におけるがん検診受診について、民間企業と連携し啓発チラシを全県に配布
- ・岩手県生活習慣病健診等管理指導協議会の各部会（胃がん・子宮がん・肺がん・乳がん・大腸がん）において、市町村が実施するがん検診の実施方法や、受診率、精密検査受診率等の状況について分析・評価、改善に向けた指導を実施

【各団体等の取組】

○岩手県対がん協会

〔令和3年度実績〕

①巡回がん検診

- ・実施数

種別	胃がん	大腸がん	肺がん	子宮がん	乳がん	肝胆膵腎
実施数	82,450	89,280	12,460	21,325	30,291	14,443

- ・新型コロナウイルスによる感染予防対策を講じた適切な受診環境を整え実施
- ・郵便ハガキによる受診勧奨(コール・リコール)(6市町村実施)
- ・市町村及び地元医師会と連携し、ピロリ菌検診の実施(2,287件)
- ・市町村・地元医師会及び県立病院と連携し、肺がんCT検診(23件)

②胃内視鏡検診(施設「すこや館」)

- ・実施数 1,062件

③保健支援

- ・発見がん(早期がん)(令和2年度)

種別	胃がん	大腸がん	肺がん	子宮がん	乳がん	肝胆膵腎
発見がん数	101	222	8	4	93	11
上の内 早期がん数	72	140	2	0	62	

- ・各種がん検診の予後調査

(H20年度発見がん者 5年・10年生存率調査：実測生存率)

	胃がん	大腸がん	肺がん	子宮頸がん	乳がん
10年生存率	70.6	83.9	22.2	100.0	96.6
5年生存率	80.4	93.2	22.2	100.0	100.0

- ・精密検査受診勧奨

検診月より3か月経過後、精密検査結果の返送が医療機関からない場合医療機関受診未報告者の受診状況確認と受診勧奨を実施主体を通じ実施

- ・県内小中高生を対象とした出前事業の実施

講師：保健師、看護師、テーマ「生活習慣病とがんの予防について」

小学校	中学校	高校
4校 計122人	2校 計60人	2校 計353人

- ・乳がん自己触診法教室の開催：計3回 参加者179人
- ・がん予防電話相談：計49件

④技術研修会

- ・医療従事者を対象に、検診部位ごとの症例検討会等(資料送付)

⑤調査研究

- ・事業年報の作成・配布
- ・論文・研究・学会発表
- ・調査研究協力・研究班調査参加・資料調査協力

⑥普及啓発

- ・広報活動
- ・印刷物・教材の購入・配布及び貸し出
検診委託契約実施主体向け当協会オリジナル啓発リーフレット配布
会員向けリーフレット配布
- ・各種会議の開催(オンライン開催)
市町村検診担当管理職会議
がん検診担当者会議及び保健師看護師情報研修会
- ・いわてピンクリボンの会 2021 乳がん啓発事業への協力

[令和4年度計画]

①巡回がん検診

- ・計画及び実施数(4～7月)

種別	胃がん	大腸がん	肺がん	子宮がん	乳がん	肝胆膵腎
計画数	42,022	49,131	9,575	7,392	10,042	5,987
実施数	39,829	48,010	9,155	6,676	9,978	6,132

- ・肝胆膵腎超音波検診の普及を推進
- ・市町村を対象にコロナ禍でもがん検診は大切であることを伝えるリーフレットを申込者等に配布(28市町村予定)
- ・新型コロナウイルスによる感染予防対策を講じた適切な受診環境を整え実施
- ・郵便ハガキによる受診勧奨(コール・リコール)に取り組む(7市町村)
- ・市町村及び地元医師会と連携し、ピロリ菌検診の実施を推進
- ・市町村・地元医師会及び県立病院と連携し、肺がんCT検診の実施を推進
- ・当協会の精度管理を結果通知書のQRコードから紹介

②胃内視鏡検診(施設「すこや館」)

- ・実施数(4～7月) 547件

③保健支援

- ・各種がん検診の予後調査
- ・精密検査受診勧奨
- ・県内小中高生を対象とした出前事業の実施
- ・乳がん自己触診法教室
- ・がん予防電話相談

④技術研修会

- ・医療従事者を対象に、検診部位ごとの症例検討会等の開催

⑤調査研究

- ・事業年報の作成・配布

- ・論文・研究・学会発表
- ・調査研究協力・研究班調査参加・資料調査協力

⑥普及啓発

- ・広報活動
- ・印刷物・教材の購入・配布及び貸し出し
- ・講師派遣
- ・各種会議の開催

○岩手県医師会

〔令和3年度実績〕

- ・岩手県生活習慣病健診等管理指導協議会（胃がん・子宮がん・肺がん・乳がん・大腸がん）に参画し、更なる受診率向上の方策を検討
- ・HPV ワクチンのキャッチアップ接種について、各郡市医師会に情報提供
- ・肝がん死亡率の減少を目的とした脂肪性肝疾患への対策について県に要望
- ・「岩手県がん検診受診率向上プロジェクト」協定に基づく胃がん及び大腸がん検診のリーフレットを各医療機関に配布

〔令和4年度計画〕

- 令和3年度の取組を継続して行うほか、下記事業に取り組む
- ・乳がん検診受診勧奨ポスターを各医療機関に配布し、ピンクリボンツリーを岩手県医師会館に設置

○岩手県看護協会

〔令和3年度実績〕

- ・健康いわて21プランの推進
- ・「世界禁煙デー」の取り組みポスター掲示と禁煙の推進
- ・受動喫煙防止対策の啓蒙活動
- ・いわてピンクリボンの会と連携した取り組みの推進

〔令和4年度計画〕

- ・令和3年度の取り組み内容を継続して実施する予定

○岩手県薬剤師会

〔令和3年度実績〕

- ・薬剤師を対象とした、がん薬物療法や緩和医療に関する研修会の開催
- ・小中高生等を対象とした、禁煙教育（薬物乱用防止教育の一環）の実施
- ・行政と連携した禁煙支援の取組（盛岡市「禁煙チャレンジ事業」、奥州市「禁煙応援事業チャレンジ The 禁煙！」、釜石市「禁煙チャレンジ支援事業」）
- ・世界禁煙デーポスターの提出

〔令和4年度計画〕

- ・薬剤師を対象とした、がん薬物療法や緩和医療に関する研修会の開催
- ・小中高校生を対象とした、禁煙教育（薬物乱用防止教育の一環）の実施
- ・行政と連携した禁煙支援の取組（盛岡市「禁煙チャレンジ事業」、奥州市「禁煙応援事業チャレンジ The 禁煙！」、釜石市「禁煙チャレンジ支援事業」）
- ・世界禁煙デーポスターの掲出
- ・学校におけるがん教育への協力
- ・健康維持・増進に関するポスターの掲出やパンフレット等の配布

○全国健康保険協会岩手支部

〔令和3年度実績〕

- ・生活習慣病予防健診におけるがん検診の実施、特定健診とがん検診の同時受診促進の取組
- ・健康保険委員向け広報誌「ハピネス」にがん検診や喫煙に関する記事の掲載
- ・各種研修会にて、生活習慣病予防健診におけるがん検診の重要性を説明

〔令和4年度計画〕

- ・生活習慣病予防健診におけるがん検診の実施、特定健診とがん検診の同時受診促進の取組
- ・健康保険委員向け広報誌「ハピネス」にがん検診や喫煙に関する記事の掲載
- ・各種研修会にて、生活習慣病予防健診におけるがん検診の重要性を説明（7/21開催の健康保険委員向け研修会にて、盛岡市保健所より講師を招き、がん検診について説明を実施）
- ・「いわて健康経営宣言」宣言事業所への受動喫煙についてのリーフレットの送付

○岩手医科大学

〔令和3年度実績〕

- ・がん征圧月間（R3.9月）新聞広告等でPR活動
- ・広報誌「がんセンターだより」年2回発行
- ・各種リーフレット（緩和ケア病棟、がん相談支援センター等）の発行
- ・がん患者・家族サロンでのピンクリボン、ゴールドリボンイベント等
- ・高校生対象のがんの教育講演会（盛岡地区6校）
- ・がんセンター動画「対話カフェ」（最新の放射線治療など）全8回配信

〔令和4年度計画〕

- ・がん征圧月間（9月）新聞広告等でPR活動
- ・広報誌「がんセンターだより」年2回発行
- ・各種リーフレット（緩和ケア病棟、がん相談支援センター等）の発行
- ・がん患者・家族サロンでのピンクリボン、ゴールドリボンイベント等
- ・高校生対象のがんの教育講演会（盛岡地区6校）
- ・がんセンター動画「対話カフェ」（最新の放射線治療など）6回配信予定

○岩手銀行

〔令和3年度実績〕

- ・定期健康診断、胃がん健診、大腸がん検診を実施した。なお、35歳以上で希望する者については、これらに代えて人間ドックを受けてもらい、費用の一部補助を行った。また、検診（健診）実施後、要精密検査の指示のある者全員に二次検査勧奨および受診確認を実施した。
- ・岩手健康保持増進等推進協議会の一員として、がん対策を含む健康分野と安全衛生について啓蒙を図る取り組みに参画した。
- ・岩手県健康福祉部健康国保課が事務局となっている「岩手県がん検診受診率向上プロジェクト」について、弊行では2009年10月1日より参画していますが、引き続きがん検診や早期発見を呼びかけるリーフレットを作成し、営業店の店頭などに置いて啓蒙を図った。
- ・令和3年8月に「いわぎん健康経営宣言」を制定した。『「従業員の心身の健康」が「地域社会の発展に対する貢献」と「当行の持続的な成長」に必要な不可欠であるとの考えに立ち、「健康経営」を推進していく』、『健康経営の推進のため、従業員一人ひとりの健康意識の向上と働きやすい環境や体制整備に取り組んでいく』旨を宣言した。

KPIとして「再検査等受診率」を「90%以上」として取り組むこととした。なお、令和3年度の実績は「90.6%」とKPIを達成するとともに、初めて90%台に到達した。

〔令和4年度計画〕

- ・ 「いわぎん健康経営宣言」において設定した KPI である「再検査等受診率90%以上」については、引き続き取り組んでいく。
- ・ 2019年4月1日より当行施設内および敷地内について完全禁煙としており、今年度も継続して実施している。
- ・ 定期健康診断、胃がん健診、大腸がん検診を実施するとともに、任意人間ドックの受診を推奨する。また、随時、二次検査の完全受診、疾病の未然防止や早期発見を呼びかける。
- ・ 毎年4月に生活習慣アンケートを実施し、回答内容を踏まえて個別のアプローチを計画している岩手健康保持増進等推進協議会や岩手県がん検診受診率向上プロジェクトなど個別に実施されている取り組みに参画するとともに、厚生労働省や岩手労働局における取り組みとの融合を図るなど、意見具申や提言を行う。

2 がん医療の充実

- がん診療連携拠点病院等の体制確保
- 拠点病院の機能強化を引き続き支援するとともに、がん患者・経験者の就労支援やがん教育などに取り組む病院へ支援
- 「がんゲノム医療拠点病院」や「小児がん拠点病院」と県内拠点病院との連携の促進
- がん医療に係る専門的知識を有する医療従事者育成の取組を継続実施
- 小児・AYA世代、高齢のがん患者に関する施策の情報収集等を実施、地域における在宅医療や医科歯科連携などの取組を促進
- がん登録等の推進に関する法律に基づく登録制度の周知及び円滑な登録を支援
- これまでの地域がん登録事業により得られたデータの積極的な利活用の実施

1 医療機関の整備と医療連携体制の構築

- ・ 県内 10 か所のがん診療連携拠点病院の専門的な医療提供や相談支援の機能強化を図るため、医療従事者等の資質向上や相談支援センター相談員の配置等を促進するとともに、がん患者・経験者の就労支援やがん教育などの取組を行う病院への支援を引き続き実施
- ・ がんゲノム医療中核拠点病院（東北大学病院）と、がんゲノム医療連携病院（岩手医大附属病院）等との連携促進
- ・ 地域の拠点病院と地域の医療機関、歯科医療機関等との連携、在宅医療等の取組を促進

(参考：県内のがん診療連携拠点病院)

がん医療圏	病院名	指定区分	当初指定年月日	更新後の指定期間
盛岡	岩手医科大学附属病院	都道府県	H20.2.8	H31.4.1～R5.3.31
	県立中央病院	地域	H15.12.16	R2.4.1～R5.3.31
岩手中部	県立中部病院	地域	H20.2.8	R2.4.1～R5.3.31
胆江	県立胆沢病院	地域	H21.4.1	H31.4.1～R3.3.31
両磐	県立磐井病院	地域	H20.2.8	H31.4.1～R3.3.31
気仙	県立大船渡病院	地域	H21.4.1	R2.4.1～R5.3.31
釜石	県立釜石病院	地域	H26.8.6	R2.4.1～R5.3.31
宮古	県立宮古病院	地域	H20.2.8	R2.4.1～R5.3.31
久慈	県立久慈病院	地域	H21.4.1	R2.4.1～R5.3.31
二戸	県立二戸病院	地域	H19.1.31	R2.4.1～R5.3.31

2 がん医療に携わる専門的な医療従事者の育成及び確保

- ・ 全てのがん診療に従事する医師・歯科医師が緩和ケアの基本的知識・技術を習得するため拠点病院等が開催する研修についての支援
- ・ 認定看護師の育成事業など、がん医療に係る専門的知識を有する医療従事者の育成

3 小児・AYA世代のがん、高齢者のがん

- ・ 東北ブロック小児がん医療提供体制協議会への参画による、小児がんの医療や患者支援に係る実態把握や情報収集

- ・ 小児がん拠点病院（東北大学病院）と、小児がん連携病院（岩手医大附属病院、県立中部病院）等との連携促進
- ・ 国立がん研究センター（がん情報サービス）や小児がん拠点病院等が提供する関連情報の発信

4 がん登録

- ・ がん登録等の推進に関する法律の施行に伴い、病院及び診療所等に対して登録制度の周知を図るとともに、県医師会等関係機関と連携し、円滑な登録を支援
- ・ これまでの地域がん登録事業により得られた貴重なデータについて、県民に対する普及啓発等において積極的な利活用を実施
- ・ 院内がん登録及び全国がん登録への積極的な取組、登録数増加、精度向上

5 骨髄移植の促進

- ・ 骨髄バンク登録説明員の養成により骨髄バンクへのドナー登録を促進
- ・ 骨髄移植の促進に向けて、市町村が実施するドナー助成への補助制度を実施

【各団体等の取組】

○岩手県医師会

〔令和3年度実績〕

- ・ 県からの委託事業として岩手医科大学附属病院、県立病院の関係者と運営委員会を組織し、連携を取りながら登録を推進
- ・ 県内のがん患者及び疑い患者の情報について、入力・照会・集計・分析等を行い、医療機関に予防の推進の基となるデータを蓄積
- ・ がん登録等の推進に関する法律が施行され、医療機関に対し登録制度の周知を図り、円滑な登録を実施
- ・ 岩手県小児・AYA世代がん患者等妊孕性温存治療費助成事業について各医療機関に周知

〔令和4年度計画〕

- ・ 令和3年度の取組を継続して実施

○岩手県看護協会

〔令和3年度実績〕

- ・ 岩手県委託中堅看護職員実務研修「がん看護」研修を実施し、がん医療に係る看護職を育成
- ・ 岩手医科大学附属病院高度看護研修センター緩和ケア認定看護師育成支援
- ・ がん関連分野における、認定看護師及び特定行為研修修了資格の取得支援
- ・ 関係団体が実施する「がん対策」事業の後援

〔令和4年度計画〕

- ・ 令和3年度の取組を継続して実施
- ・ 9月26日～28日の3日間で、岩手県委託のELNEC-J看護師教育プログラムを実施
- ・ 10月20日、岩手県委託のがん患者の療養支援、がんの痛みのコントロールを実施

○岩手医科大学

〔令和3年度実績〕

- ・ がん化学療法有害事象対策セミナー（5月）
- ・ ELNEC-J看護師教育プログラム（6月）

- ・岩手オンコロジーフォーラム（10月）
- ・岩手医科大学附属病院緩和ケア研修会（9月）
- ・合同がんセンターボード（1月）
- ・がん早期診断講演会（1月）
- ・岩手県がんフォーラムの開催（1月）
- ・緩和ケア研修ファシリテーター研修会（3月）
- ・岩手緩和ケア・テレカンファレンスの開催（年11回）
- ・がんセンターボードミーティングの開催（年9回）
- ・骨転移カンファレンスの開催（年5回）
- ・がん相談支援センター相談員研修会（年2回）
- ・がん登録研修会（年1回）
- ・がんゲノムエキスパートパネルの開催（週1回）
- ・緩和ケアセンターの運営（緩和ケアチーム、緩和ケアリンクナースなど）
- ・がん相談支援センターの運営（がん相談、就労相談など）

〔令和4年度計画〕

- ・ELNEC-J 看護師教育プログラム（5-6月）実施済
- ・岩手医科大学附属病院緩和ケア研修会（6月）実施済
- ・がん化学療法研修会オンコロジーフォーラム（12月）
- ・岩手県がんフォーラムの開催（12月）
- ・がん就労両立支援セミナー（12月）
- ・合同がんセンターボード（1月）
- ・がん早期診断講演会（1月）
- ・岩手緩和ケア・テレカンファレンスの開催（年11回）
- ・がんセンターボードミーティングの開催（年10回）
- ・骨転移カンファレンスの開催（年4回）
- ・がん相談支援センター相談員研修会（年2回）
- ・がん登録研修会（年1回）
- ・がんゲノムエキスパートパネルの開催（週1回）
- ・緩和ケアセンターの運営（緩和ケアチーム、緩和ケアリンクナースなど）
- ・がん相談支援センターの運営（がん相談、就労相談など）

3 がんと共生

- 拠点病院等が実施する緩和ケア研修や、研修の指導者・ファシリテーター向け研修の支援
- 拠点病院の相談支援センター相談員の配置・育成やがんサロン運営に対し支援
- 拠点病院等間の情報ネットワークを活用した診断・診療支援、TV会議システムを活用したカンファレンスなどの取組を支援
- 県民や地域の保健医療従事者を対象とする在宅緩和ケア講習会の実施
- 患者・家族向けサポートブックの作成・配布やホームページの活用等により、患者・家族の療養生活の質の向上に資する情報を発信
- 県施策・事業等への患者や家族の意見反映のため、県がん対策推進協議会の委員4名を公募し、協議会において患者・家族会の発言機会を確保
- がん患者の就労など各種支援について、就労支援機関等と連携し拠点病院における取組を推進
- がん患者の治療と仕事の両立等の社会参加や療養生活への支援を図るため、医療用ウィッグの購入費用を助成する市町村への補助を実施
- 小児・AYA世代のがん等患者の妊孕性温存治療に要する費用の一部を助成
- 医療機関、就労支援機関や教育関係者などの連携による相談支援の実施

1 がんと診断された時からの緩和ケアの推進

- ・ がん患者やその家族の不安や疑問に適切に対応するため、拠点病院が行う相談支援センター相談員の配置や育成、がんサロンの運営、普及啓発・情報提供事業の実施などに対する支援を実施
- ・ 専門的な緩和ケアを担う医療従事者を確保するため、拠点病院等が実施する研修会を支援
- ・ 緩和ケアテレカンファレンスの開催
- ・ 緩和ケアに係る理解の促進と地域の医療連携体制の構築に資するため、一般県民や地域の保健医療福祉従事者等を対象とした緩和ケアの講習会を、岩手県医師会への委託により県内3か所で実施

2 相談支援及び情報提供

- ・ がんに関する情報の適切な提供を通じて、がん患者やその家族等の療養生活の質の向上が図られるよう、療養上必要な情報をまとめた患者・家族向け「いわてのがん療養サポートブック」を継続配布

3 地域におけるがん患者支援、患者会等活動の充実

- ・ がん患者の悩みや不安の軽減に資するよう、がん患者・家族会の活動を支援するため、県ホームページや各種媒体により活動紹介や情報発信
- ・ がんや脳卒中などの病気になっても、就労継続など様々な支援が受けられるよう、岩手労働局が運営する「地域両立支援推進チーム」、「長期療養者等支援担当者連絡会議」構成機関と連携し、各拠点病院においてがん患者の就労に係る相談支援を実施
- ・ がん患者医療用補正具購入費助成事業（R2～）
がん患者への医療用補正具補助事業（医療用ウィッグ）を行う市町村への助成を実施

医療用補正具	助成実施市町村数（R4）	摘要
医療用ウィッグ	26	実施市町村に対する県補助有
乳房補正具	12	

- ・ 妊孕性（にんようせい）温存治療費助成事業（R3～）
将来こどもを産み育てることを望む小児・AYA世代のがん等の患者さんが、希望を持ってがん治療等に取り組めるように、将来子どもを出産することができる可能性を温存するための妊孕性温存治療及び妊孕性温存療法により凍結した検体を用いた生殖補助医療に要する費用の一部を助成

【各団体等の取組】

○岩手県医師会

〔令和4年度計画〕

県からの委託事業として緩和ケア医療講習会等事業及び令和4年度第1回アドバンス・ケア・プランニング（ACP）サポーター養成研修会を開催

○岩手ホスピスの会

〔令和3年度実績〕

- ・ 県、市町村に医療用ウィッグ、乳房補正具の助成を要望
- ・ 岩手医科大学の緩和ケア研修用動画作成に協力
- ・ 全国のがん診療連携拠点病院のがん患者さんへタオル帽子をプレゼント（5月（10病院 850個）、11月（27病院 1,350個））
- ・ 高校でのタオル帽子作成講習会（12月 盛岡第二高校 39名参加）
- ・ がん相談ホットライン活動（相談対応件数 36件/2021年）
- ・ 岩手県内ホスピスの定期的な現状調査と発信（岩手ホスピスの会通信の発行等）
- ・ がん患者や高齢者等社会的弱者の生命尊重をテーマに映画「いのちの山河」上映会開催

〔令和4年度計画〕

- ・ がんの痛みに関する映像制作（がん患者、家族の思いを映像化し、講演会等で上映）
- ・ 緩和ケア病棟の入院期間アンケート調査
- ・ 全国のがん診療連携拠点病院のがん患者さんへタオル帽子をプレゼント（6月（9病院 550個）、11月）
- ・ がん患者さんのための栄養講座（7月 盛岡市総合福祉センター）
- ・ がん相談ホットライン活動（1～12月）
- ・ 高校でのタオル帽子作成講習会（12月）
- ・ 岩手県内ホスピスの定期的な現状調査と発信（岩手ホスピスの会通信の発行等）

○盛岡かたくりの会

〔令和3年度実績〕

会員及びがん患者やその家族を支援するため、「語り会う会」の開催（4回）や「かたくり通信」の発行（4回）を実施

〔令和4年度計画〕

会員及びがん患者やその家族を支援するため、「語り会う会」の開催（1回）や「かたくり通信」発行（3回）を実施

○NPO法人いわてパノラマ福祉館

〔令和3年度実績〕

就労ピアサポーター養成講座の開催（対象：企業、市民）

〔令和4年度計画〕

令和3年度の取組を継続して実施

○株式会社盛岡書房

〔令和3年度実績〕

象と花プロジェクト（寄付いただいた本をECサイトで販売することで新しい本を購入し、小児がん等で入院している子供たちに贈る事業）の実施

対象：市民（読み終えた本を寄付いただく）、入院中の子供たち（新しい本を贈る）

〔令和4年度計画〕

令和3年度の取組を継続して実施

○岩手労働局

〔令和3年度実績〕

- ・「事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドライン」、「企業・医療機関連携マニュアル」による企業に対する周知啓発
- ・企業の意識改革及び支援体制の整備
- ・岩手県産業保健総合支援センター等の各種サービスの周知、利用促進
- ・岩手県地域両立支援促進チームによる関係者の連携、両立支援の取組促進
- ・職業性疾病であるガン（業務において石綿、化学物質等に暴露することにより発生するガン）の各種防止対策、健康診断等の推進

〔令和4年度計画〕

令和3年度の取組を継続して実施

○盛岡公共職業安定所（ハローワーク盛岡）

〔令和3年度実績〕

・長期療養者支援専門の就職支援ナビゲーターを所内に1名配置（平成28年度から実施している長期療養者就職支援事業に伴うもの）

・岩手医科大学附属病院と連携し、定期出張相談を実施（毎週水曜日の午後1～4時）

・岩手県立中央病院と連携し、定期出張相談を実施（第3木曜日の午後1～4時）

・令和3年度長期療養者就職支援事業実施状況（単位：件）

	プレ相談件数	新規対象者数	相談件数	紹介件数	就職件数
R2年度	76	69	582	122	42
R3年度	71	61	569	113	39

〔令和4年度計画〕

令和3年度の取組を継続して実施

・令和4年度長期療養者就職支援事業実施状況（第1四半期）（単位：件）

	プレ相談件数	新規対象者数	相談件数	紹介件数	就職件数
R3年度	19	19	178	33	11
R4年度	25	22	181	28	13

4 がん対策の取組を支える基盤づくり

- 新学習指導要領に対応した学校におけるがん教育の展開
- がんの予防に向け、県民に対する正しい知識、がん検診の受診勧奨などの普及啓発を引き続き実施
- 患者・家族向けサポートブックの増刷・配布やホームページの充実などにより、患者・家族の療養生活の質の向上に資する情報の発信を強化

○県教育委員会事務局 保健体育課

〔令和3年度実績〕

- ・新学習指導要領に対応したがん教育の推進
- ・がん教育の体制づくりと保健教育の充実を目的とした、有識者及び関係機関代表者で構成する協議会の設置・開催（2回）
- ・「学校におけるがん教育指導者向けマニュアル」を活用したがん教育のモデル授業の実施（小学校1校）
- ・県立学校「がん教育講演会」講師派遣事業の実施（高等学校10校、特別支援学校2校）
- ・教職員及び外部講師のがん教育資質向上を目的とした研修会の開催（令和3年10月26日開催、103名参加）

〔令和4年度計画〕

令和3年度の取組を継続して実施